

【36】スターター・リコーラー

1 任 務

- (1) スタートに関する一切の権限を有することを十分に認識し、参加者から全幅の信頼を受け、心おきなく競技に打ち込むことができるように公平を保ち、適性にスタート合図を行う。
- (2) リコーラーは、すべての競技に配置し（短距離種目には2人以上）スタートが正確であるかどうかを確認し、不正スタート、不適切行為の時は信号機を発射して呼び戻す。
- (3) リコーラーは自分の受け持つすべての競技者を、平等に見ることのできるような位置にいないといけない。
- (4) TR16 に規定されている警告や失格は、スターターまたはリコーラーが行い出発係に指示する。

2 編成と分担

- (1) 主任
全体を統括する。
- (2) 副主任
主任を補佐し、または代行する。
- (3) スターター
スターター、リコーラー、インカム各担当の任に就く。担当種目の予選ラウンドを担当したスターターは、ラウンド（準決勝、決勝）を通して同じ者が担当する。
- (4) 補助員
スターターの補助をする。

3 任務の流れと内容及び留意事項

	任務の流れ	内容及び留意事項
1	競技開始150分前	【スターター関係競技役員集合】 <ul style="list-style-type: none">・スタート関係器具のセッティングなどの打ち合わせ。・セッティング箇所の確認および割り当てについて。・スタート・インフォメーション・システム、信号器、インカム、拡声器、拡声器用マイク、スタート台、折畳みイス、電池等の準備及び確認
2	競技開始120分前	【スターター関係器具のセッティング、信号器と写真判定装置との連動テスト、その他点検】 <ul style="list-style-type: none">・セッティング完了後、インカム及び拡声器の点検、写真判定装置との連動テストを行う。・インカム<ul style="list-style-type: none">①写真判定室と交信し、音量等を調整する。②写真判定装置及びフィニッシュタイマー等の連動テストを行う旨を伝え応答する。・スターター：写真判定室の準備OKの合図があり次第、信号器を発射して写真判定装置との連動テストを行う。・ゼロ・コントロールテストを行う
3	競技開始60分前	【競技役員打合せ、スターター打合せ】 <ul style="list-style-type: none">・全体の確認事項並びに諸連絡、役割分担確認

4	競技開始 15 分前	<p>【各競技種目担当班移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競技開始 10 分前までに、各担当種目のスタート地点に到着するように班員全員で移動を開始する。なお、移動はスターター、リコーラー、補助員の順に 2 縦隊で行進する。 ・ 信号器等の必需品一式、折り畳み椅子を持参する。
5	競技開始 10 分前	<p>【競技場内に移動する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トラック内に入場する際は、信号器等の器具を持参する。 ・ トラック内に入場し、準備作業を開始する。 ・ 各競技開始前に連動テスト（シグナルチェック）を実施する。（連動テストは周囲に予告してから行う。） <p>【信号器と写真判定との連動テストの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インカム：写真判定室へ連動テストを行う旨を伝え応答する。 ・ スターター：写真判定室の準備 OK の合図があり次第、信号器を発射し連動テストを行う。 <p>【各担当箇所の準備完了】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スターター：スタート地点の準備を完了させる。 ・ インカム：写真判定室の準備状況を確認する。 判定室からの「準備 OK」の合図をスターター・出発係へ送る。 <p>※「On your marks」の発声後でも準備不足が発覚した場合は直ちに、出発係又はスターター・リコーラーのその旨を伝え、競技を止めて速やかに対処する。（メーカー担当者が気付いた場合も含む）</p>
6	競技開始 2 分前 （予選 2 組目以降は 1 分前）	<p>【出発係からトラック競技進行総務員への連絡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出発係：トラック競技ディレクターにスタート準備完了を報告 <p>【競技者紹介アナウンス開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アナウンス：アナウンサーが競技者の紹介を開始。 ・ スターター：競技者紹介と同時に台後方に移動し、競技者を確認しながら待機する。 <p>① 予選は競技者紹介のアナウンスと同時にスタート台に上がる。 ② 準決勝、決勝ではアウトレーン 2 人目の競技者紹介と同時にスタート台に上がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リコーラー：スターターと同時に行動し、所定の位置に移動して待機する。
7	競技開始 30 秒前	<p>【スタートまでの業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インカム：写真判定室に「何組目スタートします」。 →判定室は「準備 OK」の応答。 <p>◎400m までの競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スターター：「On your marks」 ↓ この間 20～25 秒前後が理想。 ・ 出発係：30 秒を超える場合「立って」と発声し、競技者を立たせ注意を与える。 ↓

		<p>「Set」 ↓ 全員腰を上げ静止したら 「バン」</p> <p>◎400m を超える競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スターター：「On your marks」 ↓ 用意の姿勢を取る。 ・出発係：この間 800m では 5～7 秒、800m を超える競技では 4～5 秒が理想。静止しない場合「立って」と発声し競技者に注意を与える。 ↓ 「バン」 ・出発係：競技者が位置についたら、TR16.4 が守られているかを速やかに確認する。 <p>① 動作確認は、「On your marks」の合図で各担当箇所に進んで確認、OK であれば速やかに元の位置に戻る。 ② 指導事項があれば素早く適切に行う。 ③ 短時間で始動できないものは、手を挙げて合図をする。 →スターターは全員を立たせて指導する。</p>
8	スタート	<p>【スタート後の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判定室：作動すれば「OK」→インカム「了解」 作動不可「ダメ」→インカムは信号器を発射→呼び戻し、スターターにその旨を伝える。 ・インカム担当者は速やかに判定室の準備状況を再確認し「準備 OK」の合図があり次第スターターに「OK」の合図をする。 ・インカム担当者が判定室との音声の確認ができない場合（インカムトラブルなど）信号器を発射して競技者を呼び戻し、スターター及び出発係にトラブル内容を伝える。出発係からスタート審判長に内容を報告し、処理についての指示を仰ぐ。 ・スターター：不正スタート、局所的動作を確認したら、信号器を発射し呼び戻しスタートチームで状況を確認 → 出発係に該当競技者のレーンナンバーを告げ、失格・注意を指示する。 ・リコーラー：スターターが見落とした不正スタート、局所的動作を確認した場合、信号器を発射し呼び戻す→スターターに該当競技者のレーンナンバーを告げる（スタートチームで状況を確認）→失格・注意の指示 ・失格の処置：混成競技での不正スタートは 1 回のみとし、その後不正スタートしたものは出発係を介してすべて失格とする。その他のレースでの不正スタートは 1 回で失格とする。
9	不正出発の際の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・不正出発時：インカム担当者は判定室に「やり直しです」と告げ、判定室の「準備 OK」の合図があり次第、スターターに「OK」の合図をする。 ・インカム：その業務に専念しリコーラーの役割を兼務しない。 ・リコーラー：必要最小限の信号機の発射を心掛ける。

10	スタート後～最終組のレース終了までの業務	【スタート後の業務】 <ul style="list-style-type: none"> ・スターター：速やかにスタート台から降り、所定の場所に腰を下ろし待機する。 ・リコーラー：所定の場所に腰を下ろし待機する。 ・インカム：所定の場所に腰を下ろし待機する。 *最終組のレース終了まで、8～10の業務を繰り返す。
11	最終組のレース終了後の行動	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の主任：信号器等のスタート必需品一式をケースに収納させる。スタート台はダッグアウト下に移動させる。 ・信号器等のスタート必需品一式と各自の椅子を持って2列縦隊で退場する。 ・長距離種目では、最終組がスタート地点1周目通過後に退場してもよい。
12	片付けについて	<ul style="list-style-type: none"> ・セッティング箇所ごとに、その個所の競技がすべて終了後行う。 ・原則として、その箇所の最終競技の業務について班が行う。 ・最終組のレースのフィニッシュ後に行う。
13	当日の終了	<ul style="list-style-type: none"> ・後片付けが終了次第、全員集合。 ・当日の反省及び連絡。 ・終了後解散。

4 スタートに際して注意を与えるべき条件について

- (1) 400mまでの競技で、「On your marks」の合図から「set」がかかるまでの間に、競技者の動作がゆっくりしていて、適切な時間内に最終の位置についての姿勢がとれない者。この場合の適切な時間とは、おおむね20～25秒前後であり、30秒を超える場合が対象と考えられる。
- (2) 400mを超える競技で、「On your marks」の合図から適切な時間内に最終の位置についての姿勢がとれない者。この場合の適切な時間とは、800mでは5～7秒、800mを超える競技では4～5秒である。
- (3) 400mまでの競技で、「On your marks」の合図の後、両手及び片膝がトラックについていない者。
- (4) 400mまでの競技で、「On your marks」の合図の後、両足がスターティングブロックに接触していない者。
- (5) 400mを超える競技で、「On your marks」の合図の後、両手または片手がトラックについている者。
- (6) 発声やその他の方法で、他の競技者を邪魔するような行為をしたもの。
- (7) スターターに対して不適切な言動をとる。または、他の競技者を軽蔑するような態度を取った者。
- (8) 「set」の合図の後、次の行為があった場合はすべての競技者のスタート動作を中止させて、当該競技者に注意を与える。
 - ① 速やかに最終のスタート姿勢に構えない。
 - ② 最終のスタート姿勢で静止しない。
 - ③ 一旦静止した後で動く（局所的な一瞬の動きも含む）。
- (9) 信号器が発射される直前に上記(8)のウの状況を目撃したが、間に合わず信号器を発射してしまい、その後再び撃ちなおして呼び戻した場合は、スタートチームで状況を確認し、同意が得られれば不正スタートとはせずに当該競技者に注意を与える。

(10) 上記の注意事項については、第 129 条④により出発係と連携して対処する。

5 失格について

- (1) 正当な理由もなく信号器の発射を認識する前に、競技者が足をブロックから、あるいは手を地面から離してスタート動作を開始したと判定した場合はすべて不正スタートとして扱う。
- (2) 失格はスターターが出発係を介して行う。リコーラーが確認した不正スタートについても同様である。従ってリコーラーは速やかに不正スタート・不適切行為をした競技者のレーンナンバーを、スターターに報告しなければならない。
- (3) 各レースでの不正スタートは 1 回失格とし、混成競技では 2 回目以降に不正スタートした競技者を、出発係を介してすべて失格とする。
- (4) 競技者が、競技役員に対して不適切な言動をとったり、他の競技者を軽蔑するような態度をとったりした場合、その行動が極端なときは失格させることもあり得る。

6 スターター関係役員の一般的注意事項

- (1) 日ごろから健康管理に心掛け、心身良好な状態を保つよう各自留意する。
- (2) これまでの自己の審判技術を確信し、リラックスして業務に専念する。
- (3) スターター間で意思統一を図り、信頼関係を保つ。
- (4) 業務に当たっては、集中力を高め感覚機能を総動員して対処する。
- (5) スターターとしての自信と威厳を持つとともに、競技者には親切で穏やかな心で接する。
- (6) スターターは指定された服装を着用する。
- (7) 競技場への入退場は、スターター、リコーラー、補助員の順に 2 列縦隊とする。
- (8) 競技場内では、迅速に行動し、椅子に腰を下ろして待機する際はその姿勢に留意する。
- (9) スターターは、スタート地点における競技者を完全に統轄し、競走競技におけるいかなる事実についても唯一の裁決者である。という事象を十分に自覚し、全競技者に信頼されるような公平かつ的確なスタートの合図を心掛ける。
- (10) スターター・リコーラー・インカム担当は、それぞれの業務を十分に認識し、その役割に責任を持ってあたる。
- (11) スターターはスタートに際しては、競技者がリラックスした中にも緊張感を持ってスタートラインにつけるように、威厳のある大きな声で「On your marks」の合図を行い、「Set」は競技者が全神経を集中しながら最終の姿勢が取れるように、やや低く、のばさずに、短く発声を心掛ける。
- (12) 公平なスタートをした場合は、自信に満ちた態度で速やかにスタート台から降り、所定の位置に腰を下ろして待機する。
- (13) 不正なスタートと思われるスタートについては躊躇なく信号器を発射して呼び戻し、不正なスタートをした競技者に対しては、出発係を介し失格とする。局所的な動作をした競技者に対しては、出発係を介して注意とする。
- (14) リコーラーは、全神経を集中してスタートの瞬間を見極め、スターターが見落としたと思われる不正なスタート、局所的動作と判断した場合は躊躇なく信号器を発射して呼び戻し、ただちにその競技者のレーンナンバーをスターターに報告する。
- (15) インカム担当の業務は、信号器と写真判定との連携が支障なく行われたかどうかを速やかに確認することである。リコーラーとしての業務は含まれない。
- (16) 補助員と連携を図り、競技運営がスムーズにいくように適切な指示・指導をしながら協力を仰ぐ。
- (17) 業務を終えて退場後は、補助員に適切な指示を与え、自らスターター控室に戻り、次の業務に備

えて休養する。

7 補助員の業務

- (1) マイク、拡声器、信号器の確認並びに紙雷管装てん確認
- (2) その他指示事項